

生 翔

(しょうせい)

「綱領」「指針」を採択

第9回 会員総会

元年度は組織強化に重点

第10回 会員総会



新年度に向けて抱負を述べる石川元年度会長

総会には会員青年部の代表者代理出席者約五百五十人が出席。冒頭、挨拶に立つた萩原会長は、「商青連は昭和五十八年四月に発足し、本年度は創立五周年という記念すべき年に当たる。これを記念して本年度は各種の記念事業を実施してきた」と前置きし、創らうふるさと、21世紀への礎をスローガンに掲げて取り組んできた本年度の事業内容をはじめ商青連活動の取り組み方などについて述べた。

このあと六十三年度各委員会からの報告が行われ、総務はじめ広報、研修、組織強化、特別の五つの委員会代表から本年度に取り組んだ事業について報告があった。引き続き議事に入り、平成元年度事業計画(案)及び同収支予算(案)を審議、いずれも原案通り承認された。このうち、予算規模

全国商工会議所青年部連合会の第十回会員総会が二月十日、東京都新宿区(財)日本青年館で行われ、平成元年度事業計画(案)・同収支予算(案)をはじめ商工会議所青年部の「綱領」「指針」、平成元年度役員選任(増員)など、いずれの議案も原案通り採択された。

また、続いて行われた平成元年度役員選任(増員)では、西田総務委員長から、当該年度に限り

平成元年度 会長あいさつ

石川 正一
平成元年度商青連会長



平成元年度の記念すべき年に、設立から7年目を迎える全国商工会議所青年部連合会(商青連)の組織強化と活発な青年部活動による商青連活動の充実を基本に、皆様と共に考え、共に活動する機会を得ましたことは、この上ない光栄の至りでありました。

が、商工会議所活動に対し積極的に参加することを期待しており、21世紀の主役となる商青連のメンバーが次代の地域のリーダーとして、自らの役割について認識を深め、新しい世紀に向けて地域の枠を超えた交流の輪を広げることには誠に意義深いものであります。次代の地域のリーダーとなる青年経営者は、転換期の時代を先取りする斬新なアイデアと行動力を備え、常に経営能力の向上に努め、事業を成功させることは当然でありますが、それぞれの地域の活性化にも力を傾注し、魅力ある地域の創造に関心を寄せなければなりません。

特に、国際競争の激化する日本における次代の経営者として、情報分析力と先見性を養うとして、不可欠な力は、商青連の会員相互が同業種・異業種で交流を持ち、併せて環境の異なる同世代の友情の絆を大切にすることは、高度情報化社会への効率的な対応といえ、全国の青年部活動として高く評価されます。

平成元年度商青連事業計画

(平成元年4月1日より
平成2年3月31日まで)

(3) 企業経営等研修視察の実施

わが国経済は、大きな転換期を迎えており、地域社会の先導的役割を担う商工会議所の果たすべき役割は従来にも増して重要になっている。特に、柔軟な発想とエネルギーをもち、行動力をもった、われわれ青年経営者が商工会議所活動に対し、積極的に参加することがますます期待されています。

そこで、全国商工会議所青年部連合会は、各地商工会議所青年部活動のより一層の推進を図るとともに、次代のリーダーとなるべき青年経営者が21世紀に向けて、自らの役割について認識を深め、地域の枠を超えた交流の輪をさらに広げるために、より積極的な事業を行っていかねばならない。

こうした状況を踏まえ、商青連の組織強化を最重点目標に本年度の事業活動を下記の通り展開する。

1、組織の拡充・強化
各地商工会議所青年部の結束力が高まるために組織の拡充・強化を図る

(1) 各地商工会議所青年部の結成促進と商青連への加入促進

(2) 各地区別連営研究会及び会長会議の開催

(3) 商青連未加入青年部との懇談会の開催

(4) 別居青年部連絡会の開催と県連結成の推進

2、研修・研究活動の充実
青年部指導者並びに青年経営者としての資質向上を図り、併せて会員相互の親睦と連携を深めるための事業を行う

(1) 中央研修会の開催

(2) 同業・異業種及び地域間交流の促進

3、広報活動の推進
青年部活動の活発化を図るため、各地青年部の情報交換を促すとともに青年部活動を積極的にPRする

(1) 機関紙「翔生」の発行・配布

(2) 日本商工会議所発行の「会議所ニュース」・「石垣」を活用しての青年部活動状況の紹介

(3) 青年部連営活動状況調査の実施

4、主要会議・交流会の開催
商青連の適正かつ円滑な運営と各地商工会議所青年部の交流を促進するための事業を行う

(1) 会員総会及び役員会の開催

(2) 日本商工会議所役員及び各地青年部役員・他団体役員との交流会の開催

(3) 全国大会の開催

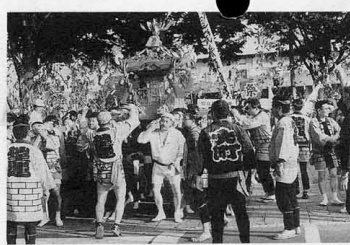
5、政策提言活動の推進
目まぐるしい社会経済環境の変化に対応し、必要に応じて関係方面に意見・要望活動を行う

6、「青年部への提言」等のフォローアップの推進
昭和63年度に各地青年部へのアンケート調査を基に、とりまとめた「青年部の今後のあり方(報告書)」における提言の具体化、商青連への意見・要望等についての検討など、フォローアップを行う

躍動する日本列島青年部

ウォーク・ラリーや七夕みこしで 市民と交流

仙台商店会青年部連合会



前日までの準備から当日の全コースの警備をはじめ、イベントが終るまでの一切の世話を行いました。でも、我々はそんな「無」が大好きです。

このパレードには43団体、1千7百人が参加。いろいろな演技をしながら練り歩きましたが、当青年部もこのパレードに「みこし」を一緒に出歩きました。写真。一基の「みこし」は3日間、主として青年部が担ぎますが、この参加が一般に広まると、市民の参加も増え、最近では女性や外国人留学生の参加も見られる等、まじりの盛り上がりが一役買っています。

では、主な事業を紹介します。ラリーと親の歴史めぐりウォーク・ラリーの開催。仙台の春のおまつり。仙台青葉まつりの一環として、伊達政宗ゆかりの地(青葉城址周辺)を親子で散策するもので、地元の名産を見直すと、親子のふれ合い、語り合い、市民から大変喜ばれています。

3年目を迎えた今年、このイベントもすつかり市民に定着。約1千5百人の親子が参加して行われました。青年部はこのイベントを主管

地域活性化目指し海外研修

燕商工会議所青年部

プレス音が絶えない町。つばめ。町は騒然とし、古しき床しき町並もなく、文化は欠如しており。でも、我々はそんな「無」が大好きです。その無も、今や新しい高速交通体系の発達から、新しき町、新しい無の地図ができてくるとして。我々は自分たちの手で、そこに、文化なり歴史を作っていく。文化なり歴史を作っていく。文化なり歴史を作っていく。文化なり歴史を作っていく。

しかし、安物は安物でしかなく。中国産が中国のブランドではなく、OEMではない間は、価格には悲観することも無い。思い。その間に我々は、西独のブランドメーカーのやり方を学び、ある程度の技術力を自分のところを持ち、ノウハウ・ブランドを確立することにより、それこそ我々が中国生産させても良いようにしていきたい。これら、中国の現状を見、話し合えることができることは、TVなどの報道と違った見方、ジャーナリストのことは、大いにプラスであったと

我々、桐生商工会議所青年部は、発足以来、経営躍進のための自己研鑽、異業種間交流、情報交換、地域社会づくりに、内なる活動を進めております。時の人である実践講師を桐生に招いての講演会も回を重ねることに充実してきました。その回顧をしていきますと、ミサワホーム代表取締役の三沢千代治氏による「変化に対応する経営」がまず第一弾。会社創業から僅か20年で、ミサワホームをわが国の代表的な住宅メーカーに育てあげた同氏の発想、戦略、経営。さらに住民革



リーダーシップを スローガンに活動

春日井商工会議所青年部



春日井商工会議所青年部が設置されたのが昭和54年9月18日です。現在、正会員68名が本年度のスローガンである「リーダーシップ」を目標として、総務、組織運営、広報、渉外、能力開発、経営企画の六つの委員会を中心に、活動しております。その中で、経営企画委員会が担当した「かがやきインポートフェア88」写真。は、63年度小商業輸入品販売促進事業の地域指定を受け、10月21日から三日間開催されました。酒類をはじめ雑貨、アクセサリー、衣料品、家具、食料品、アソビ品など、多彩な商品が並び、大いに盛り上がりました。このフェアは、地元企業の商品を積極的に紹介し、近畿圏からの需要を呼び込むことが目的です。また、このフェアを通じて、地元企業と近畿圏企業との交流を図ることができ、大変意義深いものであります。

「楽キング」発売から 「彦根商人塾」設立へ

彦根商工会議所青年部

炭焼バーベキューセット「楽キング」に楽しく、ラッキーなグッズに。これが、私たち青年部の異業種融合第一号の商品です。写真。炭焼コンロ・バーベキュー串等の食材、琵琶湖特産のアユまで入っている。をはじめ世界のビール、爪楊枝までセットされており、五人分が格安の一萬二千円です。青年部有志が自発的に、各自の取扱商品を持ち寄り、創り出したもので、地元マスコミ、近畿放送でも紹介され、アウト・ドア志向の時流にマッチした商品として好評を得ております。私たちが住む彦根市は、井伊家、人間ていば腰の部分に当たり、産業流通のいわば「陸の海峡」ともいえる重要な地という見方もあります。三十五万石の城下町として発展してきた歴史をもつ都市です。また、日本列島の中心(ハート)に位置し、人間ていば腰の部分に当たり、産業流通のいわば「陸の海峡」ともいえる重要な地という見方もあります。彦根を「城下町」という枠から解放し、地の利を生かして全国に商業活動の場を求めた先人、「近江商人」の地として捉え直し、その気運で、青年部に出てきました。次ページに続く。

若手パワーが招いた「時の人」

桐生商工会議所青年部

我々、桐生商工会議所青年部は、発足以来、経営躍進のための自己研鑽、異業種間交流、情報交換、地域社会づくりに、内なる活動を進めております。時の人である実践講師を桐生に招いての講演会も回を重ねることに充実してきました。その回顧をしていきますと、ミサワホーム代表取締役の三沢千代治氏による「変化に対応する経営」がまず第一弾。会社創業から僅か20年で、ミサワホームをわが国の代表的な住宅メーカーに育てあげた同氏の発想、戦略、経営。さらに住民革



命を提唱し、素泊りからファミリーゼーションへと、住まいの未来像を求めてまいり、中から誕生する湧き出すような発想に、経営者として多岐の収穫を得ることができました。第四弾は「食産業の草分け」として急成長を遂げた餅すかいらーく会長の横川端氏。わが社の経営戦略」と題し、一店店のオープンに至るまで中小企業としての決断と不安定、苦勞語をうかがいませ

私たちは、ここに「産根商人あきんど塾」設立を宣言します。「楽キン」商品化のプロセスに流れる先人「近江商人」の自由連取な熱き息吹を、船出する「産根商人塾丸」のエネルギーとし、地域活性化のため、優れた若手経済人を送り出すことが目標です。「まづつくりは人づくりから。地域の振興は、優れた商人づくりから。」

創立10周年記念でオークション

松江商工会議所青年部



「だももう、暑いゾの一言に尽きる真夏の一日間。その後の「やつた」と言う満足感。全会員が一丸となり、目標に向かって進んでいく上での汗の多かつた分、青年部としての結束がさらに強くなったのではないだろうか。目標は大きい方がいい」と掲げた目標額百万円。到底達成は無理だろうという思いながらも、「やつてやるぞ」という意気込みが会員一人一人から感じられました。地域開発委員会を中心としたオークションの品物集めは、各会員企業のみならず、多くの方の協力を得て予想以上に回収することができました。数日におわたるこの回収作業も、会員の汗の結晶と申せましょう。幸か不幸かの炎天下、舞台上では大きな声とともに、商品が市価の半額以下で落されていき、飛びように売り捌かれていきま

今までの青年部活動の中で、全会員が一丸となって熱く燃えていた事業は、あまりなかったように思われます。創立10周年を迎えたのが青年部も、創造の時代から創成の期へと移行していく中で、二十一世紀に向けてさらに躍進するために、何かの目標を立て、裸になって、肌と肌とのふれ合いの中に、新しい連帯感を得た活力ある青年部となるべく、事業が望まれていました。

幸いにも松江には伝統ある水郷祭があり、しかも商工会議所を中心とした新生水郷祭としてスタートを切ったばかりでした。また一方では、産業会館の建設促進も叫ばれた。今一ツインパクトに欠ける所もあり、その気運を盛り上げる所もあり、青年部設立10周年記念事業として、「産業会館建設基金抽出オークション」写真」を水郷祭に合わせて開催致しました。

県・市と連携し

徳島の飛躍を目指す

徳島商工会議所青年部



大橋が開通し、四国は史上初めて本州と直結、産業経済をはじめ、あらゆる面で大きな変革期を迎えております。とりわけ徳島県は、四年後の関西新国際空港開港、九年後に予定されている明石海峡大橋開通の影響を直接受ける位置にあり、また、四国の交通体系を一新させる高速道路の建設も進んでおります。

このように本県経済界は、未曾有の環境変化への対応を迫られており、しかも与えられた時間は限られております。

当青年部としても、ここ五年、十年の対応が、本県経済の死活問題である」との危機的認識のもとに、本県のように経済基盤の脆弱な地域では、民間の力だけでは限

5つの柱立てて研修活動

諫早商工会議所青年部

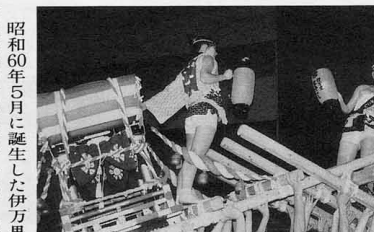


今年度の活動を、基本方針を、次代を担う若き経営者の一員として、自己研鑽及び経営全般の実践的研修を通じ、自己企業を見つめ直し、町づくりを含めた商工業の近代化の研究と国際視野を高める研修等を積極的展開すると定め、大きく5つの柱を立てて次の通りの研修活動を実施している。

1. 経営戦略
2. 経営戦略
3. 経営戦略
4. 経営戦略
5. 経営戦略

新しい夏祭つくる

伊万里商工会議所青年部



己研鑽、企業繁栄の場として、ひいては地域経済発展の場として、青年経営者らしい新鮮な感覚にあふれた発想と創造を掲げ、21世紀へはばたく「いまより」づくりのために、会員一同、より一層の飛躍を目指していきたく張り切っております。

今年度(昭和63年度)の活動の一つとして、当青年部では、いまより女みこしを実施しました「写真」これは、毎年8月に行われる市民納涼花火大会が今年よりより20周年を迎えるのを機会に、今までの伝統的な行事に新しい企画を取り入れ、今までになかった新しい名物行事として生み出されたものです。花火大会に加え、子供綱引き大会、丸太乗大会、それにメインの「女みこし」を当青年部で企画し、若いビッチャギヤルが神輿を担ぎ、町内を練

界があるため、県・市等行政機関との連携・協力により、地域の活性化を図る諸事業を推進することに致しました。

本年度は、徳島市が長期構想として発表した「とくしまニューフロンティア事業」の「海洋パーク」「アニメーション」「等」について、市長をはじめ市幹部を講師に招き、数回にわたって研究会を開催率直な意見交換を行いました。そこで全市民に周知を図り、認識を高めてもらうために、堺当青年部会長が実行委員長に推され、「とくしまニューフロンティアシンポジウム」写真」を市等と共催するなど、同事業の推進を積極的に図っております。

このように、会員間の相互理解、交流を深めるため、本年度は、顔写真とプロフィールの入った会員名簿の作成、家族を含みのレクリエーション、夫妻同伴での講演会・パーティ、ゴルフコンペ等を計画・実施致しました。

今後、会員企業内における新たな企業活動の方向をさぐる、国際化を図るための実務研修を実施し、丸紅の輸入実務担当者や、輸入実務についての講習会を実施した。

昨年、当青年部では初の海外研修を実施し、30数名の団員を中国福建省へと派遣した。中国では開放政策が進む福州市において福建省の若手経営者と輸入、労働、販売促進についてのシンポジウムを開催し、大きな成果を上げて帰国した。今年度は10月23日から3泊4日の行程で、オリエンティックを契機に急速な経済発展を続ける隣の国、韓国を訪問し、熱気あふれる韓国の企業視察と国防を含めた韓国の実情を視察した「写真」。

昨年、今年とアジアの国を訪問して感じたことは、国内だけを見ると、わが長崎県は西の端に位置し、地理的条件は決して良いとは言えないが、

視野を広げて考えると、アジアの主要都市との距離は非常に近く、歴史的にも海外との西の玄関口になりうることを確信したことがあった。

その時々に発生した問題について、自由に参加し、自由な研究を進める特別研修室を開設し、現在3つの問題について研究、研修を進めている。

1. ニューメディア特別研修室
2. ニューメディア特別研修室
3. ニューメディア特別研修室

①ニューメディア特別研修室
昨年度から発足したこの研修室は、地域におけるニューメディアのあり方について研究を行い、ワープロ、パソコン、パソコンを使った経理、通信などの研修を重ねてきた。またNTTと共同でパソコンネットワークを使い、関東、関西地区在住の当出身者や学生等のデータベース入力作業を行っている。今後、このデータベースを使い、当市商業活動を十分活用していきたいと考えている。

②町づくり特別研修室
諫早商工会議所では一昨年、商業近代化基本調査を実施し、当市の未来計画を発表した。青年部ではこの基本計画の研修と総合的な町づくりの研究のため特別研修室を設置した。現在、当市の振興計画審議会の各専門部会に青年部員を送り、研究参加している。

③国際化特別研修室
会員企業内での国際化という問題について検討を進め、新たな事業活動をさぐるために国際化特別研修室を設置した。現在、貿易の実習としてサンブルの発注、商品選定まで終了し、これからの発注、取引の段階となっている。

このように、諫早商工会議所青年部では、青年部活動で各種研修研究活動を行い、各企業々の活性化を図っているが、このことがひいては、私たちがいること、諫早のより良い発展と活性化に役立つことを信じ、今後とも活動していきたいと考えている。

青年部「綱領」「指針」を策定

今、なぜ、青年部の「綱領」「指針」なのか

● 設定理由

昭和63年には13商工会議所に青年部が新設され、全国307青年部に拡大された。そして、商青連が結成されて6年目を迎えた。

これまでの活動は、創生期の試行錯誤の連続であったと言っても過言ではなからう。過去の活動の

見直しと、これから新しく設立される青年部のために、そして私たちの活動のバックボーンとなるものは何か、活動の判断基準となるべきものを何に求めるのか。

このことについて、各地青年部でいろいろな場面で語られて久しい。青年部の活動は運動と言われ、青年部は、あくまで地域の

豊かな発展を実現することを、商工会議所活動の中で実践するものである。この原点を踏まえ、これからの私たちの活動をさらに充実させ、拡大し、さらに21世紀に向かい、21世紀を超えて引き継いでいくならば、今こそ青年部は何をなすべきか、その判断基準は、という活動ポリシーを確立すべき時

● 青年部活動の基本的な考え方

私たち青年部の目指すものは、豊かな住みよい地域づくりにある。これは、地域の豊かな発展が、わが国の明るい将来を導くという基本的な認識に立つものであり、地域社会の健全な発展を図る商工会議所の活動の一翼を担うことにつながるものである。

地域の経済的発展が豊かな地域づくりの根源であることは言を待たない。そして、その原点は私たち自らの企業、商いを発展させることにある。

刻々と変化する国際情勢の中で、今やわが企業、商いは安泰といつたことは考えられない。何らかの形で、直接的に、間接的にその影響を受けている。グローバルな物の見方、考え方がさらに要求されるのと同時に、変化に対応できる判断力、決断力が企業の大小にかかわらず、経済人として特に備えなければならぬ資質となることは言うまでもなからう。

私たちは次代を担う青年経済人として、互いに切磋琢磨しつつ、志を同じくする者の友情を高め、自己研鑽を行い、ひいては地域社会における先導者としての資質向上を図る必要がある。「和而不同」といふ言葉がある。祭りやイベントも文化であるが、これが少なくとも青年部々々あり、美しい商店街をつくり活性化

化を図るのも文化であろう。このような観点において、私たちは地域の文化継承を行い、新しい文化創造のために行動しなければならぬ。

青年部が各地で設立されるのは、商工会議所活動に新風を吹き込み、活性化を図るには若者の力が必要だと考えよるところが多いと聞く。若者の柔軟な思考力、猛進できる行動力、集中力に期待されているのである。ところが、私たちは親会議所から安易にまかされた事業を安易に請け負うことをしてはならないだろうか。決してこれを否定するものではないが、青年部が商工会議所活動の一翼を担い、会議所活性化を図るのであれば、明確な目標、目的をもち、独断的発想のもとに、勇気と情熱をもって積極果敢に行動することこそ、求められる青年部の姿であろうと考えられる。

商工会議所青年部

綱 領

商工会議所青年部は
 地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い
 次代への先導者としての責任を自覚し
 地域の経済的発展の支えとなり
 新しい文化的創造をもって
 豊かで住みよい郷土づくりに貢献する

指 針

- われわれ青年部は
- 一、地域を支える青年経済人として 先導者たる気概で研鑽に努めよう
 - 一、国際社会の一員であるべき 国際人としての教養を高めよう
 - 一、豊かな郷土を築くために 創意と工夫 勇気と情熱を傾けよう
 - 一、文化を伝承しつつ 新しい文化の創造に向かって歩を進めよう
 - 一、行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ 力を合わせ 国の礎となろう

青年部活動への提言

各地青年部へのアンケート調査結果から

各地青年部へのアンケート調査は、さまざまな問題を提起して行われている。そして、各地青年部それぞれの活動に大きな格差があることも事実である。設立からの歴史は長いが活動はそうでもないところ、日は浅くともバリバリ活動しているところ、何をしていたところ、正にさまざまである。青年部創生期の苦しみなのであろうか。大切なことは、意欲である。青年部は、このままではいけない。何

① 組織としての形をつくる。

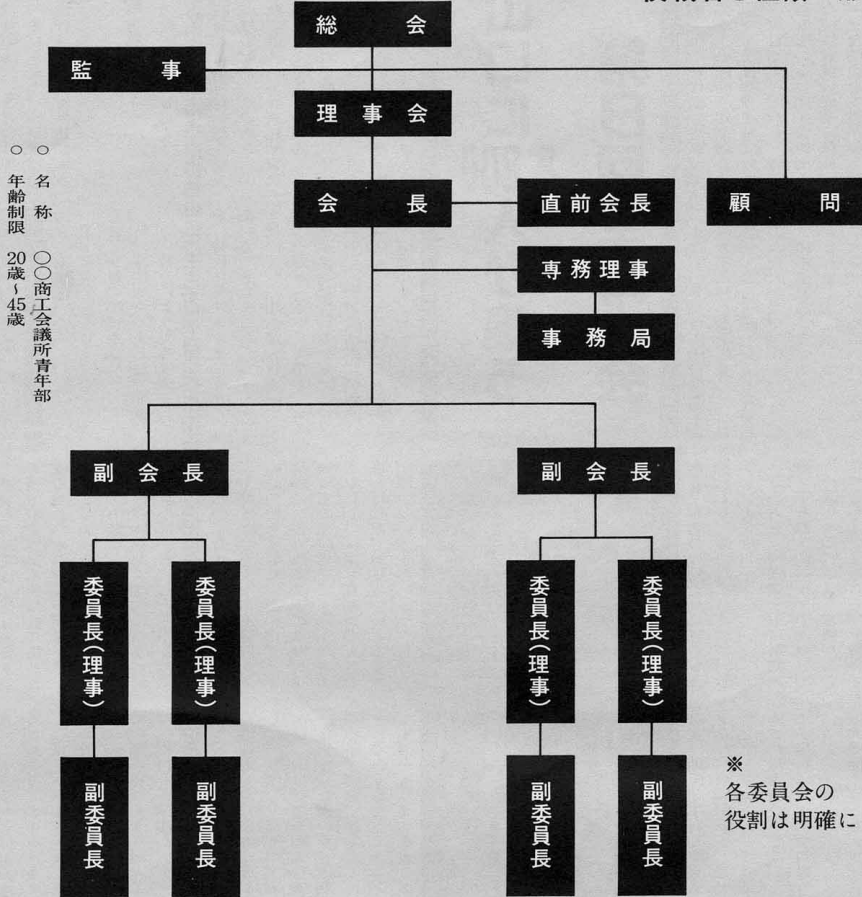
青年部組織の名称、役職名、会費資格と年齢制限、委員会の設置の有無と名称、これらの組織上における統一性が、ここ数年やかましく言われているにもかかわらず、なかなか実現されない。

各地青年部の設立や活動事情の中で統合化できないものがあると思われ、できるだけ早く全国統一されるのが、今後の青年部の運営が円滑化される糸口であることは言うまでもない。

次に、これからの青年部を考えるに当たって、ポイントになるべき点を問題提起として取り上げてみた。

「綱領」「指針」は、基本的な青年部活動のポリシーであり、判断基準である。これをもとに全国各地の青年部が、そしてメンバー諸兄が豊かで住みよい郷土づくりに邁進するならば、わが国の明るい将来が脈々と息づくに違いないと確信する。

○役職名と組織の形



※ 各委員会の役割は明確に

○名称 ○商工会議所青年部
○年齢制限 20歳～45歳

② 青年部運営には、会長・執行部の強力なリーダーシップが必要。
このためには、年功序列にとらわれないこと、真に目的意識をもち、リーダーシップを発揮できる会長、執行部を選出することこそ、会員の責務でもある。

③ 出席率の低さを克服しよう。
それは、委員会活動の活性化と魅力ある例えづくりが必要。
各地青年部の最も悩むところが出席率の低さである。出席率が低ければ会の意志統一ができず、事業を行うことが難しくなる。このため、会員相互のコミュニケーション

④ 地域の他青年団体も、豊かに住みよい地域づくりの目的は同じ。しかし、アプローチの方法が異なる青年部。
青年団 ○○青年部等、地域にはいろいろな青年団体が活動している。その究極の目的は基本的に同じである。そして、それぞれに独自性をもって活動している。私たちの活動について、少なくとも他団体とは異なる手法、アプローチがあるわけで、ここに青年部の独自性がある。それは経済的側面における切り口である。

⑤ 活動実績の積み上げこそが商工会議所の活性化と明確な位置づけにつながる。

私たちが青年部の活動は、商工会議所活動の一翼を担うものであっても、それが商工会議所活動の一環として中に埋れるものであってはならない。埋れるものであれば当然のことながら、商工会議所活動の活性化にはつながらないと考えられる。青年部の創意と工夫、新しい発想に基づく展開が上り、こそ、私たちの存在価値が上がり、商工会議所に刺激を与え、ひいては活性化につながるものと考えられる。

こうした実績の積み上げが、自ずから青年部の認識につながるものであろう。行動で成果を示すことが、要求するよりも先行するのではなからうか。

◎ 全国統一事業推進の提案。

私たちが全国に300カ所・2万1千人を超える大きな組織となった。そしてその活動は、地域に密着して着実に成果を上げつつあり、その活動内容は共に似通ったものも多い。これを効果的に全国ネットワークで統一事業として展開できないだろうか。

地域に密着しつつ、全国的に実施されるならば、直接的な社会的効果もさることながら、青年部同志の強力な合意が生まれてくるはずである。継続が前提である。

◎ 商青連は青年部に行く道を示す道しるべ。

商青連は、常に各地青年部に情報を提供するとともに情報を収集し、信号を流し続けることが当面の役割の第一であろう。この中で、方向性をつくり出していく必要があり、指導力を求める声も多いが、強い指導力と反発となる。大変難しいところであるが、創生期から充実期への青年部のあり方はある意味では、商青連の指導力にかかっている。

若手経営者に期待する



仙台商工会議所 会頭 岩尾 氏

最近のわが国経済は、個人消費減量化はもとより、的確な情報提供が順調に拡大する中で物価は安定し、また設備投資も力強さを増し、企業収益も増加して雇用情勢も改善が進むなど、総じて内需主導型の景気拡大が緩やかに続いており、一方において地域格差の拡大、国際競争の激化、さらには4月から導入されます消費税の問題など解決すべき問題も山積みしております。

加えて、情報化、技術革新、国際化、高齢化は急速に進展し、さらに経済のソフト化、サービス化など社会の成熟に伴う産業構造の転換に直面しつつあります。

こうした経済環境の中において、企業が今後とも安定した成長を続けていくためには、経営の合理化、成功させるためには、成長性のあ

る分野や、できるだけ既存の経営資源を活用できる分野など、適切な転換先を選定することが最も重要なこととなりますが、基本的にはやはり人材、情報、技術及び資金などの経営資源の充実を図っていくことが大切であると存じます。

また、経営資源の乏しい中小企業においては、異業種交流が活発に行われておりますが、異業種交流は発想の転換を生み、新たな事業展開をするうえで極めて重要であり、こうした動きは今後さらに進展するものと思われまします。

このように考えますと、これからの経営者は、時代を先取りする進取の気性と、変化への適応力を備え、経営資源を多角的に活用できるかどうか、経営を大きく左右するものと存じます。

こうした意味において、若さと自由な創造力をあわせもち、次代を担う地域のリーダーであり、皆さまで若手経営者の果たす役割は更に重要であり、企業に携わっておりまして私どももいたしまして、そのご活躍には大きな期待を寄せております。

本年は仙台市が市制百周年を迎え、4月には政令指定都市に移行する記念すべき年でございます。当所といたしまして、東北の中核都市としての役割を担い、大きな飛躍の年にいたしたいと存じますが、それぞれの事業の実施に当たりましては、柔軟な発想とエネルギーを行動力をもった若手経営者の方にも参画していただき、時代を先取りする斬新な感覚と豊かな感性をいかに発揮していただきたいと思います。

全国各地の商工会議所青年部の会員各位におかれましては、これまでをそれぞれが地域において、豊かに潤われる地域経済社会の構築のためにご努力されておりますが、今後とも来るべき二十一世紀に向けて、その使命を十二分に認識され、事業を通じて地域社会の発展にご尽力されますよう願ひいたします。



経営理念

社には「以和貴為」を掲げており、社内は、もとより協力工場ともども、共栄の道を求めていきたいと思ひます。

島崎(株)代表取締役
島崎洋子(埼玉県)
女性オーナー
いんたびー
常にチャレンジ精神で

経営方針

社業の繁栄を基本として、その

- 1、信用を重んじる。
- 2、会社の品位を保つ。
- 3、時代にマッチした、知識、努力により先進産業として

を、時代に反映させよう」とあいつを言いました。

このあと、主催者の紹介と、次期開催地・高知県の紹介がありました。

演題は「私の野球人生」。二千二百五十五試合連続出場という世界記録を樹立した鉄人・衣笠氏の話を、聴衆の心を打ったようでした。

「私の野球人生」をテーマに講演する衣笠祥雄氏

初日は、まず萩原会長が「これからの商青連」と題して其調講演の中で同会長は、創立五周年を迎えた商青連の記念事業をはじめ本年度実施してきた事業内容、今後の課題等について述べるとともに、商青連の運営について出席者に協力を呼びかけた。

最後に、日本商工会議所常務理事・守屋一彦氏が「商工会議所青年部への期待」と題して講話。地域社会並びに商工会議所活動の活性化に果たす青年部の役割等について、参加した青年部員に期待を込めた話が行われた。

山口に2,200人が集う 第8回全国大会

たあと、主催者を代表して萩原幸昭・全国商工会議所青年部連合会会長が、今年度は商青連創立五周年という節目です。しかし、青年部を設置してない、商工会議所もあり、今後は設置の促進を積極的

また、引き受けの山口県商工会議所青年部連合会代表として、時苗聖一・第八回商工会議所青年部全国大会会長が、小さいことでも、積み重ねること大きな結果が生れます」とあいつを言っていました。

から、若者の行動力を絶賛する会頭らしく、適切に口調で、激励を述べました。

このあと、村岡満・山口県副知事・平井龍・山口県知事代理や小林兼年・山口市長ら来賓があいさつをして、今後の発展を祈つていました。

衣笠祥雄氏を招いて講演会がありました。会場は広く、せつぱくした機嫌で、市民にも開放された講演会でした。

八日の二日間わたって全国大会が開かれたことがあげられると思ひます。

また十七日は、朝からエキスカイションとして用意されたゴルフコンペが、1988年ベストリナーメント開催コースとして知られる宇部カントリークラブ万年池東コ

夜は、石川六郎・日商會頭を迎えて懇談会。会場はミカンの木などで演出。山口県の名物・フグ料理もふるまわれ、参加者の関心を呼びました。また山口県出身歌手山本譲一さんもステージで歌い、青年経営者同士の交流に、一役買っていました。



約2,200人が参加した式典



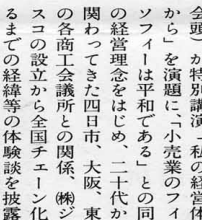
懇談会で記念撮影する石川日商會頭と萩原会長



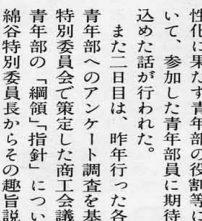
「私の野球人生」をテーマに講演する衣笠祥雄氏



懇談会会場に配置された「ミカンの木」



最後に、日本商工会議所常務理事・守屋一彦氏が「商工会議所青年部への期待」と題して講話。地域社会並びに商工会議所活動の活性化に果たす青年部の役割等について、参加した青年部員に期待を込めた話が行われた。



あいつをつする萩原会長(円内は体験談を披露する岡田日商特別顧問)

4、社内にとり、遊び、楽しさを取り入れて社員の皆様に共栄を願いたい。

●フアツションに関する考え方
今、女性の活躍が大となり、非常におしゃれになってきました。自分にあつたおしゃれをする時代になってきています。下着に関して

●会社の現状
一主婦であつた私が、父の死後突然の社長業となりましたが、皆様のおかげで、無事5年が過ぎました。売上高は、2倍以上となり、利益も、それなりになつて参りました。

●将来への展望
今年2月、新工場株式会社シェリールが操業します。スタートは30名ですが、一年後には50名、その後は100名までの工場を、新規に岩手県陸前高田市に設立致しました。

常にはチャレンジしていくつもりです。平成元年に新たな工場が操業出来るのも、何かに感じるものがあり、活気のあるクリエイティブ・カンパニーにつくりあげ、地域の皆様にも貢献したいと考えております。また、皆様からも愛される会社になりたいものだと、考えております。

続いて、商青連創立五周年を記念して実施した「懸賞論文の募集」及び「会報コンクール」の入賞作に対する表彰式が行われ、懸賞論文の部・三人、会報コンクールの部・八青年部一県連に対し、萩原会長からそれぞれ表彰状と記念品が手渡された。特に会報コンクールに関しては、審査に携つた(株)ジャパンニュースセンター取締役チーフエディター・森唯男氏から、応募のあつた会報の見出しや句読点の付け方を中心に審査講評が行われた。

体験談に深い感銘
岡田日商特別顧問が講演
第6回研修会
中央

5周年記念 懸賞論文最優秀作

商青連創立 懸賞論文最優秀作

商青連は本年度、創立5周年を迎えたことから各種の記念事業を実施しているが、その一環として商青連青年部の所属部員に対して「地域活性化に果たす青年部の役割」をテーマに懸賞論文を募集した。

これに対し、各地青年部の所属部員から青年部の運営等を考えるうえで示唆に富む作品が寄せられ、これらについて総務委員会を中心となつて審査した結果、最優秀作には松江商工会議所青年部の山下武之氏の論文が決定した。以下に同氏の論文(全文)を紹介する。

「地域活性化に果たす青年部の役割」

実行の方向に明日が

松江商工会議所青年部 島根県 山下武之



1、松江市は

松江市は人口14万人、宍道湖に面した風光明媚な町である。1611年、堀尾吉晴が松江城を築城して以来、城下町として発展。明治になってからは、県庁の所在地として地方行政の中核であった。昭和26年に京都市、奈良市とともに「国際文化観光都市」の指定を受け、観光都市として栄えてきた。町の性格としては、江戸時代から常に、時代の権力の影響を直接に受けながら、大きな変革もなく至つてきたこともあり、保守的な振舞が目立ち、また現状を維持することから始まる。よつて、商いは「殿様商売」と称され、自己改革を積極的に進めようとする可もなく不可もなく、時代の流れに逆らわず、受け入れていく町と言つても過言ではない。

(会報コンクール審査結果)

最優秀賞に下関商工会議所青年部会

今年度、全国商工会議所青年部連合会の創立5周年記念事業として、各地商工会議所青年部で発行している会報(誌)を対象とした「全国商工会議所青年部会報コンクール」を行い、機関紙「翔生」5号で募集をしたところ全国各地より三十七カ所の青年部より会報(誌)の応募があり、(株)ジャパン・ニュースセンターに取組役チーフエディター・森唯男氏に審査、協力を、お願いし、最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作5点を決定いたしました。また審査発表は、平成元年2月9日に日本青年館(東京)で行われた第6回中央研修会において広報委員会の各委員長から、審査経過について説明をし、表彰式が行われ、萩原会長より各々に表彰状と記念品を贈呈しました。その後、森唯男氏より審査講評をお願いし、森氏の今までのジャーナリストとしての経験より、新聞の校正の仕方、表題の付け方、句読点の打ち方などの講演がありました。また入賞作品は、会場ロビーに展示

4、青年部の体質

さて、以上の背景の中で商工会議所青年部は、どのような役割を担うべきかという問題である。しかし、就労の場の拡大と、それによる消費の拡大である。しかし、それは、消費の拡大であつて、蓄積にはなっていない。そのような状況の中で、地域に住む私たちは企業誘致、一辺倒でよいのであろうか。やはり、私たちは地域の中で積極的に取り組まねばならない。つまり、企業誘致は他人の力を当てた活性化である。今、松江市にとって必要なのは、自らの力で、自らの意志で「おこす」ことである。それが松江市の体質改善へと結びついていくわけである。

3、松江の産業は

松江は「城下町」であり、県庁所在地であり、「観光都市」であり、「産業都市」ではない。その「松江の産業は何か」という、次の3つの切り口が考えられる。①時代に対応した新しいモノ、②今あるモノを拡大させる、③昔あつて、今途絶えたモノの復活

2、産業おこし

町の活性化手段として、企業誘致が効果的な方法である。このことから、全国各地に「工業団地」が建設され、都会から大企業の工場を誘致し始めた。メリツは、税制の優遇措置、安い土地価格、安くても勤勉な労働力など。しかし、企業は合理化や国際競争の中で、効率の悪くなった地方の工場を廃止を冷徹にも断行する時に、進出先と握手をし、進出が地域の発展の一助となつてほしい」と等と、入賞作品は、

1、松江市は

「意欲」の改革は「実行」にできないと思つている。研修も、講演会も、視察も、「実行」のためのプログラムでなければならぬ。研修のための研修、講演会のための講演会、視察のための視察はいは、何を「実行」するのか。当面、「実行」しなければならぬものとして、次の3つが考えられる。①自分の事業の活性化を実行、②自分の事業の洗い直しを行い、改善できる箇所はないか。無駄はないか。拡大できる箇所はないかを真剣に検討する。そして、地域でのトップになるための計画をつくり、実行する。とにかく、自分の事業の発展に対して「意欲」「意欲」を持ち合わせていないと、それは論外である。②自分の事業の所属する業種の協働化を実行、③自分の事業と異なる業種との共同化を実行することが、異なる業種であるからこそ共通できる可能性が見つけられる。異業種交流

5、実行すること

「意欲」の改革は「実行」にできないと思つている。研修も、講演会も、視察も、「実行」のためのプログラムでなければならぬ。研修のための研修、講演会のための講演会、視察のための視察はいは、何を「実行」するのか。当面、「実行」しなければならぬものとして、次の3つが考えられる。①自分の事業の活性化を実行、②自分の事業の洗い直しを行い、改善できる箇所はないか。無駄はないか。拡大できる箇所はないかを真剣に検討する。そして、地域でのトップになるための計画をつくり、実行する。とにかく、自分の事業の発展に対して「意欲」「意欲」を持ち合わせていないと、それは論外である。②自分の事業の所属する業種の協働化を実行、③自分の事業と異なる業種との共同化を実行することが、異なる業種であるからこそ共通できる可能性が見つけられる。異業種交流

2、産業おこし

町の活性化手段として、企業誘致が効果的な方法である。このことから、全国各地に「工業団地」が建設され、都会から大企業の工場を誘致し始めた。メリツは、税制の優遇措置、安い土地価格、安くても勤勉な労働力など。しかし、企業は合理化や国際競争の中で、効率の悪くなった地方の工場を廃止を冷徹にも断行する時に、進出先と握手をし、進出が地域の発展の一助となつてほしい」と等と、入賞作品は、

1、松江市は

「意欲」の改革は「実行」にできないと思つている。研修も、講演会も、視察も、「実行」のためのプログラムでなければならぬ。研修のための研修、講演会のための講演会、視察のための視察はいは、何を「実行」するのか。当面、「実行」しなければならぬものとして、次の3つが考えられる。①自分の事業の活性化を実行、②自分の事業の洗い直しを行い、改善できる箇所はないか。無駄はないか。拡大できる箇所はないかを真剣に検討する。そして、地域でのトップになるための計画をつくり、実行する。とにかく、自分の事業の発展に対して「意欲」「意欲」を持ち合わせていないと、それは論外である。②自分の事業の所属する業種の協働化を実行、③自分の事業と異なる業種との共同化を実行することが、異なる業種であるからこそ共通できる可能性が見つけられる。異業種交流

平成元年 商工会議所青年部の設置状況

四八九商工会議所のうち、三〇七会議所に設置 (設置率 六八・二%) (H・1・2、28現在)

地区	青年部数 (会議所数)	設置率
北海道	12 (40)	三〇・〇%
東北	34 (42)	八一・〇%
関東	39 (49)	六二・〇%
中部	20 (44)	四五・五%
近畿	44 (67)	六五・七%
中国	31 (50)	六二・〇%
四国	26 (29)	八九・七%
九州	48 (76)	六三・二%

(編集後記)

1月7日、先の大皇陛下が崩御され、激動の昭和から、平成へと時代が変わりました。われわれ商青連も今年度、萩原会長のもと、商青連創立5周年という節目に当たり、「特別委員会」を設置し、「青年部の今後のあり方」としての商工会議所青年部の「綱領」を公表しました。また、商青連未加入青年部との懇談会の開催、アンケート調査、懸賞論文

最優秀賞に下関商工会議所青年部会

今年度、全国商工会議所青年部連合会の創立5周年記念事業として、各地商工会議所青年部で発行している会報(誌)を対象とした「全国商工会議所青年部会報コンクール」を行い、機関紙「翔生」5号で募集をしたところ全国各地より三十七カ所の青年部より会報(誌)の応募があり、(株)ジャパン・ニュースセンターに取組役チーフエディター・森唯男氏に審査、協力を、お願いし、最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作5点を決定いたしました。また審査発表は、平成元年2月9日に日本青年館(東京)で行われた第6回中央研修会において広報委員会の各委員長から、審査経過について説明をし、表彰式が行われ、萩原会長より各々に表彰状と記念品を贈呈しました。その後、森唯男氏より審査講評をお願いし、森氏の今までのジャーナリストとしての経験より、新聞の校正の仕方、表題の付け方、句読点の打ち方などの講演がありました。また入賞作品は、会場ロビーに展示

2、産業おこし

町の活性化手段として、企業誘致が効果的な方法である。このことから、全国各地に「工業団地」が建設され、都会から大企業の工場を誘致し始めた。メリツは、税制の優遇措置、安い土地価格、安くても勤勉な労働力など。しかし、企業は合理化や国際競争の中で、効率の悪くなった地方の工場を廃止を冷徹にも断行する時に、進出先と握手をし、進出が地域の発展の一助となつてほしい」と等と、入賞作品は、

1、松江市は

「意欲」の改革は「実行」にできないと思つている。研修も、講演会も、視察も、「実行」のためのプログラムでなければならぬ。研修のための研修、講演会のための講演会、視察のための視察はいは、何を「実行」するのか。当面、「実行」しなければならぬものとして、次の3つが考えられる。①自分の事業の活性化を実行、②自分の事業の洗い直しを行い、改善できる箇所はないか。無駄はないか。拡大できる箇所はないかを真剣に検討する。そして、地域でのトップになるための計画をつくり、実行する。とにかく、自分の事業の発展に対して「意欲」「意欲」を持ち合わせていないと、それは論外である。②自分の事業の所属する業種の協働化を実行、③自分の事業と異なる業種との共同化を実行することが、異なる業種であるからこそ共通できる可能性が見つけられる。異業種交流